

## 支笏湖畔幌平山(718.1m)

2019年2月2日(土) CL 藤木 スキー班 西田 小山内 渡邊 宇佐美 八重樫 太田 門馬 笹山

スノーシュー班 藤木た 近藤 永宮 川村 栗山 増川

気象担当O氏調べによるとこの日の現地天候は晴れ、気温 $-4^{\circ}\text{C}\sim-8^{\circ}\text{C}$ 、風 $4\sim5\text{m/s}$  果たして移り気な山の天気、チーフリーダーの願い通り、頂上から支笏湖ブルーにドロップインとなるのかどうか？

**7:00** 岡志別の森公園集合、K氏一番乗り、が登山靴を忘れ自宅へ、この頃忘れ物事件多発。人、靴、風呂道具 etc. まだ帰る家を忘れた人は無し、一安心。

苫小牧は15cmほどの積雪、M氏と合流、新インター建設中の支笏湖道路に入り、湖畔は氷涛祭りの準備。

**9:30** 幌平山登山口P場着



**9:50** 背筋がピンと伸びた元体操選手の掛け声で体操、樹林帯へ踏み入ると倒木が折り重なり笹も顔出し。地図と高度計と周りの地形で現在地確認、コンパスで進行方向決定。時折顔を出す太陽にあったかいね。



**11:20** 樹林帯を抜け雪の斜面を力強く進み、尾根に取り着くと眼下にはいぶし銀の支笏湖が広がり、右手恵庭岳岩峰が霞み、晴れていればきっと猛々しさが伝わってくる距離。

**11:30** 頂上着、さあー、いぶし銀の湖にドロップインと行こう！ただ、それより先にN氏の足元、雪庇が音をたててドロップイン、油断大敵。

**11:50** 下山滑走開始、ふわふわ雪を楽しんで、樹林帯のスラロームを楽しんで、と、W氏U氏二人の達人思いがけない転倒、絡まる雪と枝に悪戦苦闘。転んでばかりの私の心の内は“ウッシッシ”

**12:30** 風もなく穏やか、ツェルトを張らずスキーの椅子で昼食タイム。やっぱり外の食事は少々寒い。

**13:00** P場着。全員帰還、リーダーより労いの挨拶。

途中苫小牧“ゆのみの湯”の温泉に浸かり **16:30** 岡志別の森公園着、いつものように「またねー」そう、明日も西昆布岳へ行くのです。リーダー、サブリーダー、車の運転等々、有難うございました。

スキー班記録 笹山